

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南病院

法適用区分	衆種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	教臨が感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
－	41,959	－	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 Ⅰ…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
352	－	－
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
－	4	356
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
333	－	333

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の関係・ネットワークを基に）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

I 地域において担っている役割

少子高齢化と人口減少が問題となっている田辺2次医療圏において、不採算部門（救急・小児・周産期・災害・精神等）の医療機能を維持し、変化する医療需要に応じた医療を提供する役割を担っている。また、医師や看護師の人材を確保し地域完結型医療を構築するため、引き続き急性期医療を充実させ、経営基盤を強化していく必要がある。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

R5年度はコロナの分類見直しによりコロナ患者受け入れのための空床確保も上半期で終了し、一般診療への切り替えが行われた。コロナ診療により医療収支や診療単価は増加しているが、空床確保の影響と下半期の一般診療にかかる入院患者数の回復が緩慢で損益分岐点（1日平均290人）を大きく下回り、安定した収益の確保は難しくなっている。人件費や物価の上昇により給与費率、材料比率があがっていることから、病床利用率を上げ収益の増加を図り、職員の適正配置や再編、医薬品の調達方法や効率を見直すなどの費用削減に努め、健全経営に向けた対策を行っていく必要がある。

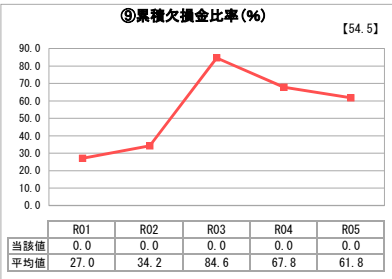
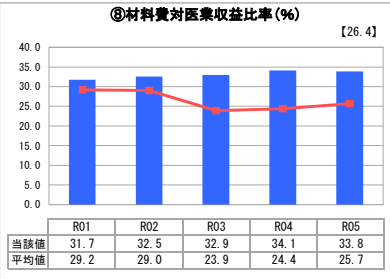
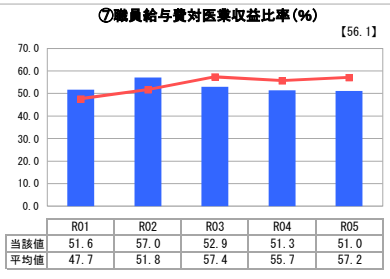
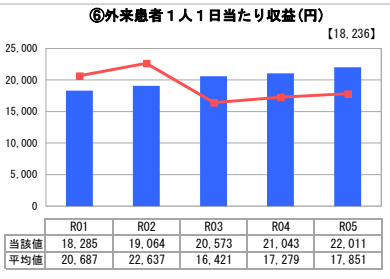
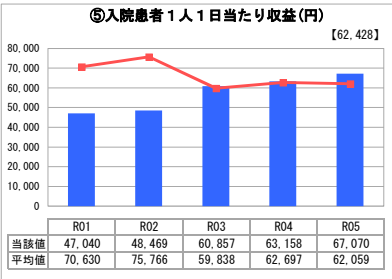
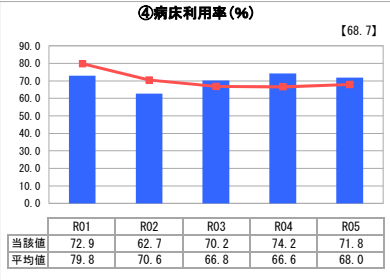
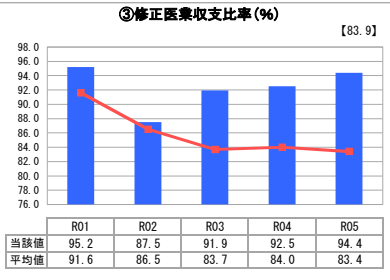
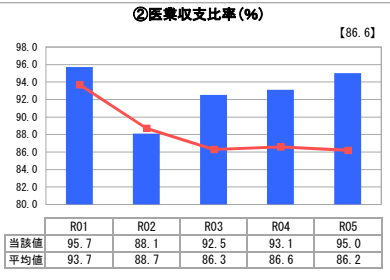
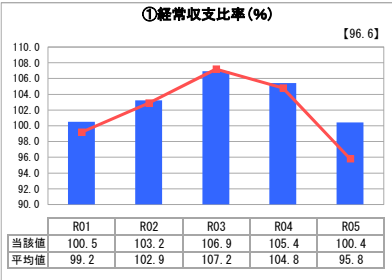
2. 老朽化の状況について

R5年度は手術支援ロボット等高額医療機器の更新や大型備品の除却により減価償却率の改善がみられた。固定資産の更新にあたっては長期計画を作成し、計画的に設備の更新にあたっており、施設の長寿命化に加え医療機器の更新が医師確保や医療機能の拡大にも繋げていけるよう、適正な配置と資金運用に努めている。

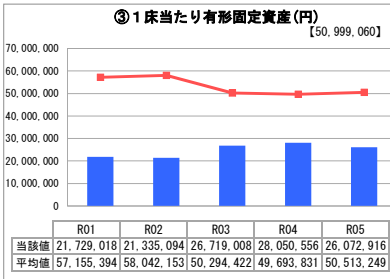
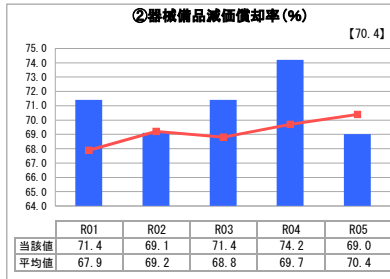
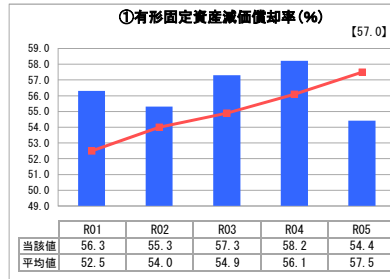
全体総括

R5年度は医療や病床の制限と緩和が混ざり合い、その影響が諸比率や診療単価に表れたことにより例年との比較分析は複雑であった。また人件費や物価の高騰などの社会的影響も加わり、医療収支比率では100%を切り赤字となったが、コロナ関連補助金等により経常収支比率は100%を維持することができた。安定した経営を維持するためには平時での修正医療収支比率をいかに改善させるかが重要であり、患者数の増加や医師確保対策に加え、病院全体としてコスト意識の共有、職員の専門知識や分析能力の育成、向上が不可欠である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県公立紀南病院組合 紀南こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	12,421	非該当	非該当	15：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
198	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
-	-	-

■ 当該病院値（当該値）	
— 類似病院平均値（平均値）	
[] 令和5年度全国平均	

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の花組・ネットワークをききむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当地域唯一の公立の精神科医療施設として、入院はもとより、外来診療・地域精神保健・福祉相談や救急患者・青年期患者・措置患者に対応している。また、地域の障害者入所施設や通所施設への精神科医療上の支援も行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

全国的傾向と同様に入院患者数が減少してきており、病床利用率が低くなっている。今後入院患者が増加に転じる可能性は少なく病床再編を含めた費用削減に取り組む必要がある。

一方で外来患者数については増加傾向にあり、県内他地域の精神科病院と比較しても顕著である。また、医師不足により中止していた休日・夜間の救急診療についても、一部の曜日に限定して再開している。外来収益を増加させることで入院患者減少による入院収益の減少を補い、救急の受け入れにより入院患者の減少に歯止めをかけ、病院全体として更なる経営健全化を目指す。

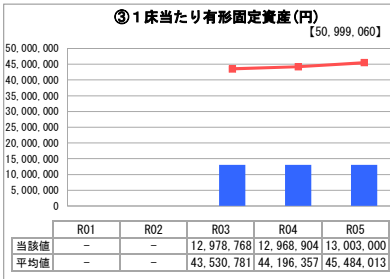
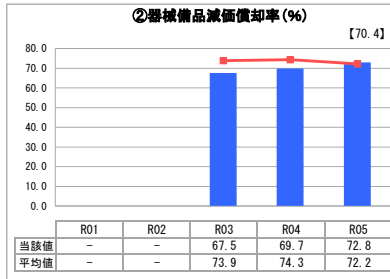
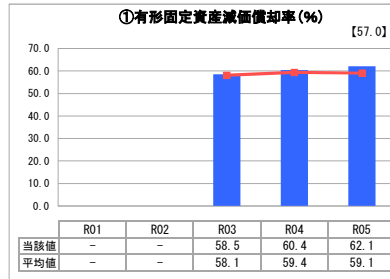
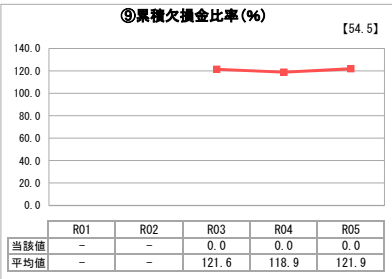
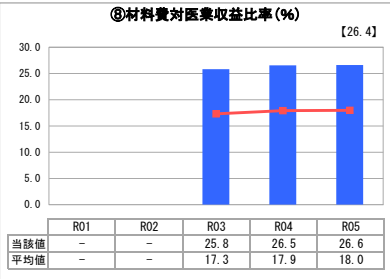
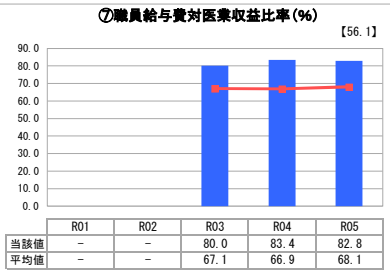
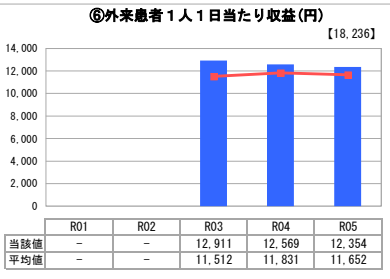
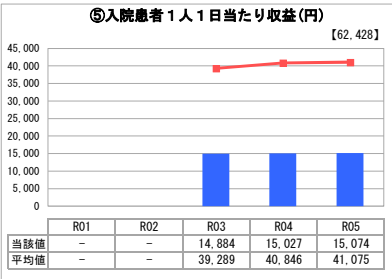
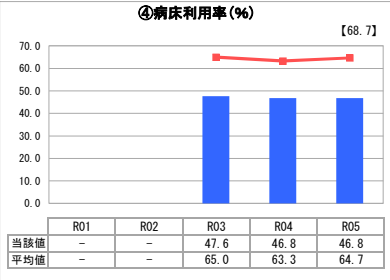
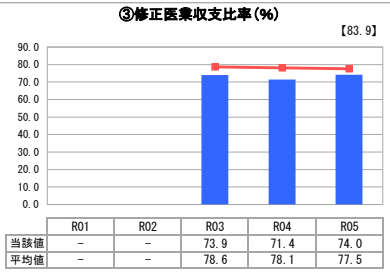
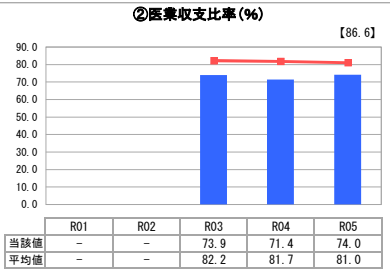
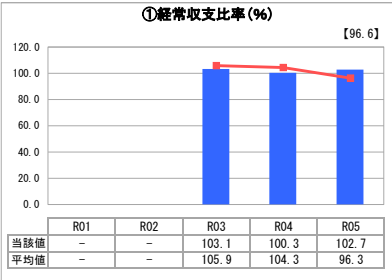
2. 老朽化の状況について

現病院は昭和59年より使用しており建物、設備で老朽化が顕著な状況である。経年劣化による機器の更新は順次実施しているが、建物・設備の修繕費用は今後さらに増加すると思われる。必要な修繕を実施して病院運営の維持に努めているが、早期の建て替えもしくは移転が必要と思われる。

全体総括

平成22年度から経常黒字を続けており、現時点では経営状況は安定している。後は入院患者の身体的疾患への対応など効率の面から紀南病院内の1診療科としての編入なども今後検討が必要と思われる。建物・設備の老朽化も深刻であり、修繕や更新の費用も増大している。経営の効率化に並行して建て替え、移転なども検討課題であり、総合的な対策が求められる。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。